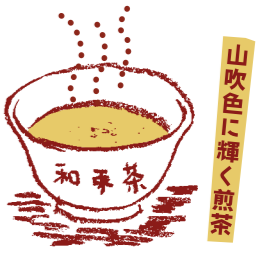


茶源郷めぐり



京都府の南(山城地域東南部)に位置する宇治茶の郷「和東町」。和東川を見下ろし、山の稜線を重ねて遙かに広がる茶畑。鮮やかな緑の波文様と、隣り合って暮らす民家が並ぶ石垣の集落。自然と人の営みが織りなす情景は、鎌倉時代から今日まで茶葉の生産を生業としてきた和東の人々が育んだ、美しい日本の暮らしのみなもと「茶源郷」です。



恭仁京跡から和東町へ
加茂駅 → 恭仁京跡 → 石寺(map-A)

平城京を離れた聖武天皇が、伊賀、伊勢、美濃、近江などを転々とした後、宮を置いた「恭仁京」。JR加茂駅から恭仁京跡を通り和東町の石寺へと至る道程は日本の原風景を巡る旅。のどかな田園風景の中、茶畑が目前に迫るにつれ和東町「茶源郷」が近づいて来たことを感じます。

京都府 和東町

うまし茶をはぐくみ暮らす源の地「茶源郷」。

山城地域東南部、山の頂まで茶畑が広がる宇治茶の郷、和東町。

清々しい空気と冷涼な気候、昼夜の寒暖差が大きく、おいしいお茶を育てる環境に恵まれた地です。

和東川に向け、周りの山々から流れる小さな川と豊かな森林の生み出す霧が、茶葉を包み、遮光を助け、お茶の旨みを引き出します。



和東に初めてお茶の木が植えられたと伝わる「原山」、茶畑と隣り合わせに伝統的な民家。



山々から流れ出す川と豊かな森林が霧を生み茶葉をやさしく包み込みます。

和東茶

山吹色の至福、茶の郷のおもてなし。

日本茶の中で誉れ高い「宇治茶」、その中でも和東産は、京都府の生産量の約半数をしめ、品質においても全国有数の高級茶葉です。

和東では煎茶、抹茶、焙じ茶など多種に加工しており、代表は山吹色に輝く煎茶です。

栄養価が高く、食材としても注目される和東茶。心をこめて煎れた至福の一杯を味わいにお越しください。



至信楽



お茶の郷わづか“満喫”イベント
お茶摘み体験、工場見学、茶香服など、茶のまち和東を満喫できるイベントを、毎年開催しています。

煎茶

和東のお茶の代表は、山吹色に輝く煎茶。さわやかな味と香りが特徴の和東煎茶は、香り、味、形状とも日本トップクラスです。

お茶の佃煮

和東に昔から伝わる、茶殻に実山椒とちりめんじゃこを加えて柔らかく煮た佃煮。無くなりつつあった伝統の味がまちのお母さん達の力で復活しました。



茶団子

茶葉をふんだんに使用した、煎茶・ほうじ茶・抹茶の3色団子。口いっぱいにお茶の香りが漂います。



抹茶 ぜんざい

本格抹茶を使用した、抹茶スイーツ。抹茶の苦みとあんこの甘みが絶妙。ほうじ茶と一緒にどうぞ。



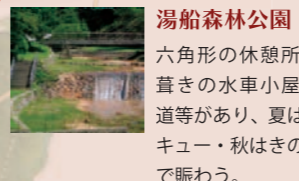
行場

金胎寺は山岳霊場として開基され、厳しい行場がある。山頂から行場にかけて京都府の歴史的自然環境保全地域である。

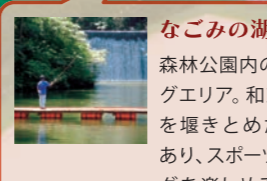


鷲峰山金胎寺

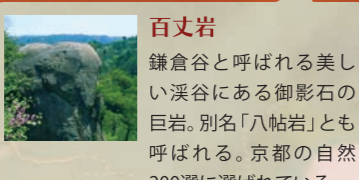
7世紀末頃、役の小角が寺を開基し、聖武天皇が平城京の鬼門を護るために堂を建て、勅願寺としたと伝えられている。



湯船森林公園
六角形の休憩所やよし葺きの水車小屋・遊歩道等があり、夏はバーベキュー・秋はきのこ狩りで賑わう。



なごみの湖
森林公園内のフィッシングエリア。和東川の支流を堰きとめた人造湖であり、スポーツフィッシングを楽しめるスポット。



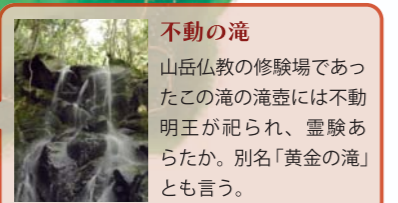
百丈岩
鎌倉谷と呼ばれる美しい渓谷にある御影石の巨岩。別名「八帖岩」とも呼ばれる。京都の自然200選に選ばれている。



生業の景観は、先人から受け継ぎ、絶えず手を入れ、営々と積み重ねてきた和東の人々によるもの。

緑の山々、その山肌に描かれた美しい茶畑の波文様、寄り添い暮らす家々の麓。

茶葉をそよがす風を感じ、茶を愛する人と出会う、「茶源郷和東」を訪れてみませんか。



不動の滝
山岳仏教の修験場であったこの滝の滝壺には不動明王が祀られ、霊験あらたか。別名「黄金の滝」とも言う。





1 弥勒磨崖仏
和東川を覗き込むように、川の右岸の巨岩(御影石)に彫られた立像がある。正安2年(1300年)4月の銘が彫られている。



川沿いから見上げるだけでは想像がつかないほどの急傾斜に合わせ、パッチワークのように繊細に畝が巡る美しい山畑の風景。子安地蔵尊のある場所は鎌倉時代、奈良から相楽に通じる旧撰原街道の峠です。道行く多くの人がこの風景を目にし、憩いの一時を過ごした事でしょう。



和東町の四つの茶畑の景観が京都府景観資産登録第一号に認定されました。



和東に初めてお茶の木が植えられたのは鎌倉時代、原山と伝われます。東海自然歩道を歩くと日本の原風景を思わせる町並み、民家を抜けると広がる一面の原山の茶畑。数ある茶産地の中で、収穫と手入れのために一年を通して最も多く鉄を入れる和東の茶畑は、ときに芸術的な光景を見せてくれます。



7 和東天満宮
西暦983年に円融天皇の勸請で菅原道真公を祀ったのが始まり。彩色鮮麗な室町時代の建築様式を残した本殿は重要文化財。



その昔、紫香楽宮が置かれた甲賀市に接する湯船地区。森林に囲まれ和東川のうねりと渓谷に沿って民家と茶畑が点在するその町並みは、訪れた人に懐かしい風情を感じさせます。集落を過ぎしばらく進めば、まちの最東端に広がる森林公園があります。



2 和東青少年山の家
和東運動公園内の宿泊施設、研修等にも利用できる。茶懐石やお茶を使った料理も提供しています。
TEL 0774-78-2603



3 和東茶カフェ
和東の情報発信ステーション。こだわり茶人のお茶・和東の創作特産品などの販売も行っています。ぜひお茶を飲みに来てください。
時間 10:00~15:00
TEL 0774-78-4180



4 安積親王陵墓
安積親王は聖武天皇の第五皇子で、744年17歳で死去。平城京・恭仁京と紫香楽宮とを結ぶ街道を愛した皇子のために、この地を陵墓として葬られたと伝わる。別名「太鼓山」とも呼ばれ、茶畑に囲まれた陵墓から眺める風景も絶景である。



5 正法寺
聖武天皇の第五皇子安積親王の冥福を祈って行基が創建した禅寺。南北朝の戦いで荒廃していたが、1644年に現在の地に古堂を移し再建されました。秋の紅葉が見事なスポットです。



6 八坂神社の大杉
樹齢1300年以上と言われ、幹周り12.8m、高さ31mの北山杉。昔、本幹が倒壊し、枝木の8本が株を一つにして巨木となったと伝わる。町内に同一品種は見当たらず誰がこの地に植えたか謎である。京都府指定の天然記念物。

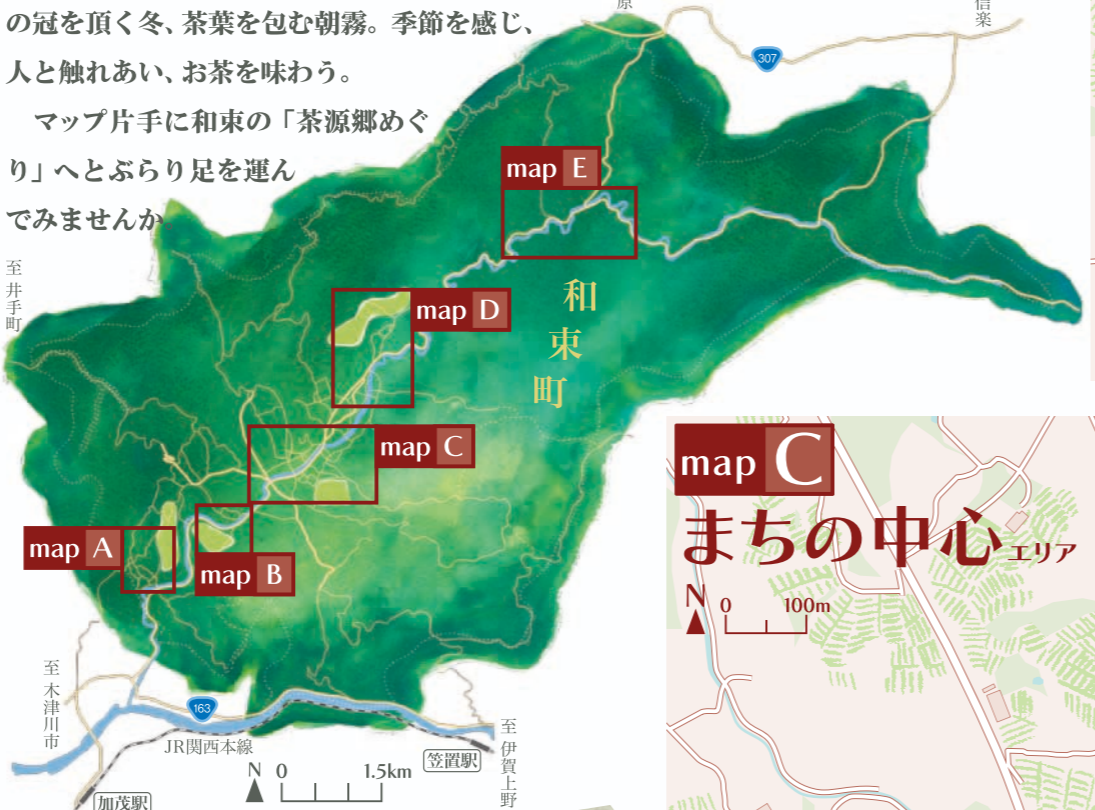


恭仁京跡から和東町へ至る道のりのまちの玄関口である石寺エリア。傾斜に沿って石垣の上に建つ民家、天まで届くかのような茶畑、春には桜並木が色づきます。和東は西から東へ順に暖くなるため、まちの西に位置するこの地域は「早場(はやば)」と呼ばれ、4月下旬には茶摘みが始まります。

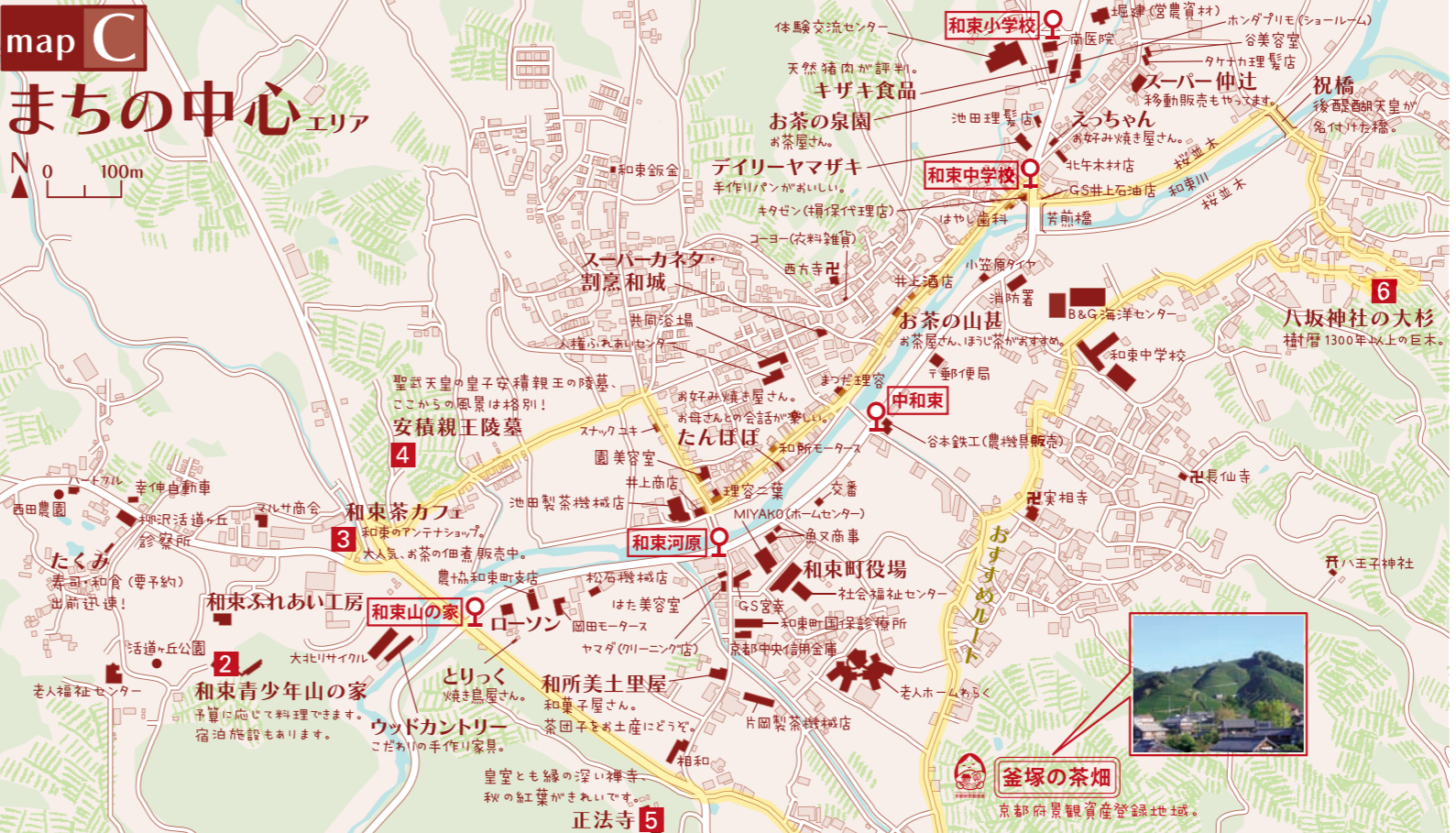
茶源郷めぐり

山の稜線を越えること、眼下に広がる鮮やかな茶畑。桜色の春、緑風の夏の田園、紅葉の秋、雪の冠を頂く冬、茶葉を包む朝霧。季節を感じ、人と触れあい、お茶を味わう。

マップ片手に和東の「茶源郷めぐり」へとぶらり足を運んでみませんか



多くのお店が集まるこのエリアは和東の人々の営みが集うまちの中心地。まちを歩けば和東の日常を間近に感じます。釜塚山の茶畑は傾斜地を先人がすべて手織り開墾し広げたもの、庭畑のように茶畑と民家が隣合わせにつくる景観は、和東が誇る「生業の景観」です。



発行：和東町役場(農村振興課) tel: 0774-78-3001 e-mail: wazuka@town.wazuka.kyoto.jp http://www.town.wazuka.kyoto.jp/

ほっこりサークル(和東町商工会) tel: 0774-78-3321 e-mail: wazuka-sci@kyoto-fsci.or.jp http://hokkori.kyoto-fsci.or.jp/ http://wazuka.kyoto-fsci.or.jp/

和東町雇用促進協議会 tel: 0774-78-4181 e-mail: info@chagenkyo.com http://www.wazuka-chagenkyo.jp/

NPO法人わづか有機栽培茶業研究会 http://kyoto.cool.ne.jp/wazuka-yuukichaken/